

2022年



かわむら小児科

モ〜モ〜くらぶ

公式 LINE



インフルエンザワクチンについて

今年インフルエンザが流行するのかわかりません。一昨年、昨年は周南市はほとんどゼロに近かったと思いますので、今年もし流行したら大流行になるのかもしれないし、皆さんがマスク、手洗いなどコロナの感染対策をされているので去年に続いてほとんど出ないかもしれません。今年南半球のオーストラリアでは7-8月に3年ぶりに大流行したと言われています。

ワクチンは接種してから2週後ぐらいから免疫がで始め、4週でピークに達します。その後効果は5ヶ月間ぐらい持続すると言われています。ただし、子どもでの有効率は20から30%ぐらいですので、接種していてもかかることはあります。

生後6ヶ月以降で接種可能です。ただし、1歳未満では接種しても効果がない(あまり免疫ができない)のであまりお勧めしていません。家族の方が受けられるとよいと思います。

13歳未満の子では基本的には2回接種(3週から4週間隔がベスト)ですが、小学生で以前に受けている子であれば1回接種でも効果は2回接種と変わらないということがわかりはじめたので、1回でもよいかと思います。3歳以上で前年に受けている子であれば1回でも効果ありというデータもあります。

今年はコロナ感染予防のため、診療時間とインフルエンザワクチン接種時間を分けました。午前8:30~8:40(火曜から土曜)、午後は平日15:20~16:00と17:40~18:00(火水金)、土曜日は15:20~17:00としています。予約枠が以前より少なくなっていますが、ご了承ください。

・・・感染症情報(10月1日現在)・・・

★新型コロナウイルスは減ってきていますが、毎日少しずつ出ています

★RSウイルス、ヒトメタニューモウイルスが流行しています。どちらも高熱が4~5日、咳、鼻水が1週間ぐらい続きます。年長児では軽く済みます。

子どもの誤飲・誤嚥・窒息

【誤飲】生後7~8ヶ月頃から、食べ物以外の物を飲み込んでしまう誤飲が急増します。特に10ヶ月頃になると手にした物を何でも口に運ぶようになるので、十分注意しましょう。

- タバコの灰皿は置きっぱなしにしない
- キッチンの洗剤・アルコール類は放置しない
- 小さな物は子どもの手に届かない所に片づける(特にボタン電池、磁石は危険)
- 薬は引き出しなどに入れる

【誤嚥】ピーナッツ、枝豆などの豆類は気管に入ってしまうことがあります。5歳以下の子どもには与えないようにしましょう。

【のどの窒息】ミニトマト、ブドウなどはのどに詰まることがあるので、4歳以下の子には小さく切るかつぶしてあげましょう。唾液を吸収して飲み込みづらいパンなどは、小さくちぎって食べさせましょう。

歩きながら食べたり、急いで食べようとする誤嚥や窒息の危険性が高くなります。きちんと座ってゆとりを持って食べる習慣をつけましょう。

(いろは)

なかよしタウンの大きなハンバーグ

作:oba

なかよしタウンのアンディさんとゼストくんは、ある日けんかをしてしまい、仲直りのきっかけづくりにハンバーグパーティーを開きます。



ハンバーグを作っているうちに、一緒に遊んだこと、優しくしてくれたことを思い出します。「ごめんね」と素直に言えるって素敵ですね。

登場人物のキャラクターが可愛く、読み聞かせも楽しくなります。(ピノ)

10月22日(土) 午後 休診